

5)分娩第 2,3 期時におけるケアや配慮はどのようなものがありますか。

「快適なケアや配慮」

「安全性が損なわれないケアや配慮」


6)出生直後の新生児へのケアや配慮はどのようなものがありますか。

「快適なケアや配慮」

「安全性が損なわれないケアや配慮」


7)産褥入院中（産後約 5 日まで）のケアや配慮はどのようなものがありますか。

「快適なケアや配慮」

「安全性が損なわれないケアや配慮」


8)新生児入院中（生後約 5 日まで）のケアや配慮はどのような配慮がありますか。

「快適なケアや配慮」

「安全性が損なわれないケアや配慮」


9)その他（環境等）のケアや配慮はどのような配慮がありますか。

「快適なケアや配慮」

「安全性が損なわれないケアや配慮」


2. 女性が安全で快適な出産をするために、助産婦として、望むことやメッセージがございましたら、ご記入下さい。

--

3. 最後に、以下の項目ではまる番号を○で囲み、□内は数字をお書き下さい。

1) あなたの年齢はいくつですか。(平成13年10月現在)  歳

2) 助産婦としての臨床経験は何年ですか。  年

3) 現在の就業場所はどれですか。

- ①大学病院      ②大学病院以外の総合病院  
③その他の病院(単科病院、小児科・産科病院など)      ④診療所      ⑤助産所  
⑥その他(できるだけ具体的に)

4)現在の職位(名称が違う場合は同等の職位)はどれですか。

- ①看護(副)部長      ②(助産)院長      ③(副)婦長      ④主任・係長  
⑤スタッフ

5) これまで、助産婦として就業した場所はどこですか。

(経験した場所すべてに○をつけて下さい。)

- ①大学病院      ②大学病院以外の総合病院      ③その他の病院  
④診療所      ⑤助産所 有床      ⑥助産所 無床  
⑦教育機関      ⑧その他(できるだけ具体的に)

御協力ありがとうございました。

助産婦が心身共に気持ちの良い状態になるよう意識しながら妊産褥婦や新生児の日々のケアを  
実践していることを、社会に向けてアピールするためにも、この調査方法は、継続して3回行う  
ことに大きな意義があります。1回目である今回の調査は、記述式でお手間をとらせて申し訳ご  
ざいませんでした。2、3回目につきましては、今回の調査をもとに選択式(○をつけるだけ)  
の回答ですので、ぜひご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

次回以降も本調査に御協力いただける方は、下記の枠内にご住所とお名前を御記入下さい。

ご住所 〒
お名前

平成 13 年 12 月 21 日

(社) 日本助産婦会会員 各位

厚生科学研究事業「助産所における安全で快適な妊娠・出産環境の確保に関する研究」  
分担研究者 高田 昌代

## 2 回目調査のお願い

拝啓

師走の候、皆様におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、自由記載で、非常に書きづらい調査にもかかわらず上記の研究にご協力頂き、誠に有り難うございました。また、2 回目の調査にもご協力いただけるとのお返事を頂き、重ねて御礼申し上げます。

お陰を持ちまして、大変多くの方々から、助産婦が日頃行なっている妊娠から産褥、新生児のケア内容を約 25,000 項目も頂きました。これらの項目を集計しておりますと、日頃先生方がいかに妊産褥婦や新生児について、きめ細やかで、優しく、それでいてきびしいケアをなされていることを痛感致した次第です。

1 回目は自由記載でしたが、今回は皆様の自由記載項目の重複等を集計してまとめ、その実践頻度とその重要性の程度を項目毎に数値でお聞きしていますので、該当するところに○印をお付け下さい。尚、1 回目では妊婦、産婦、褥婦、直後新生児、新生児と各時期や対象者に分けてお聞きしましたが、前述のように大変多くのケア内容となりましたので、今回は「妊婦」を対象にした「快適さ」と「安全性」のケアに限定致しました。次回、次々回は、「産婦」、「褥婦、直後新生児、新生児」について行なう所存です。

また、この調査は皆様のご意見を反映しながらくり返し調査をする方法を用いております。3 回目の○印をつける調査で終了ですので、3 回目も是非ご協力下さいますようお願い致します。

なお、この研究にご協力いただけない場合においても、不利を被ることはないことと、プライバシーの確保には細心の配慮を致すことをお約束致します。

年末年始でお忙しいこととは存じますが、来年 1 月 7 日 (月) までに同封の封筒にてご返送頂きますようお願い致します。

敬具

お問合せ先：神戸市西区学園西町 3-4

神戸市看護大学 高田研究室

TEL/FAX 078-794-8077 E-mail mtakada@tr.kobe-ccn.ac.jp

1. あなたが助産婦として妊婦の「快適」を確保するために、以下の項目について  
実際に行われている頻度と重要であると考える程度についてお答えください。  
 例にならって、あてはまると思う数字に○をつけて下さい。

実践頻度については、以下を参考にしてください。

- いつもしている : 毎回行っている  
 かなりしている : 3回に約2回は行っている  
 時にしている : 2回に約1回は行っている  
 あまりしていない : 3回に約1回は行っている  
 していない : 全くしていない

	実践頻度	重要度			
		重要である	少し重要である	あまり重要でない	重要でない
妊婦の「快適さ」へのケア内容	い 5 か 4 つ 4 も 4 し 4 て 4 て 4 い 4 る 4 る 4	あ 3 ま 3 り 3 し 3 り 3 い 3 い 3 い 3 ない 3 ない 3	し 2 ま 2 り 2 し 2 り 2 い 2 い 2 い 2 ない 2 ない 2	あ 1 ま 1 り 1 し 1 り 1 い 1 い 1 い 1 ない 1 ない 1	
例) 体重コントロールについて	5 ④ 3 2 1	④ 3 2 1			
<b>(健診日の設定について)</b>					
待ち時間を短縮する	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
健診は予約制にする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
家族や夫が共に来やすい診察日時を設定する(夜間、日・祝日)	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
健診は、来所でも訪問でも自由に選べるようにする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
妊婦の家での健診をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
充分話し合えるように時間を配慮する	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
<b>(来院時の妊婦や家族への対応における配慮について)</b>					
お茶を入れる	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
ねぎらいの言葉で迎える	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
挨拶をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
笑顔を絶やさないようにする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
楽しい話をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
言葉遣いに気をつける	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
明るく丁寧に接するように心がける	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
妊婦の顔を見て話すようにする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
<b>(診察室等環境への配慮について)</b>					
穏やかで落ち着く雰囲気作りをする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
妊婦さんには大きな肘付きの椅子を準備する	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
座り心地のよい椅子を準備する	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
夫婦が揃って診察を受けるように椅子2脚を準備する	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
室温の調節をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
ベッドを温める	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
リネンを清潔にする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
妊婦が枕を選べるようにする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
妊婦の動線を考えた間取りにする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
バリアフリーにする	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
照明を調整する	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
音楽(BGM)を流す	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
雑誌を置く	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
分娩に関するビデオを貸し出す	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
庭の景観を楽しめるように整備する	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
アロマを使用する	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
花を生ける	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
<b>(診察時における対応について)</b>					
暖かい手でケアを行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
声かけしながら援助を行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
診察時以外は仰臥位をとらせない	5 4 3 2 1	4 3 2 1			
計測などは短時間で行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1			

	実践頻度	重要度		
		重要である	あまり重要でない	重要でない
妊婦の「快適さ」へのケア内容	いかにしてもしている	あまりにしている	あまりにしている	あまりにしている
露出部位は最小限にする(腹囲、子宮底測定、レオポルドの時等)	5 4 3 2 1	4	3	2 1
診察時、周囲に話し声がもれないように工夫をする	5 4 3 2 1	4	3	2 1
診察時、周囲に音がもれないように工夫をする	5 4 3 2 1	4	3	2 1
内診時、不快感な音につける	5 4 3 2 1	4	3	2 1
内診時、リラックスさせる	5 4 3 2 1	4	3	2 1
内診時、クスコは使わない	5 4 3 2 1	4	3	2 1
内診時、示指だけを使う	5 4 3 2 1	4	3	2 1
内診時、潤滑油(馬油等)を使用する	5 4 3 2 1	4	3	2 1
内診台のカーテンを調節出来るようにする	5 4 3 2 1	4	3	2 1
内診台を使用しない	5 4 3 2 1	4	3	2 1
必要がなければ内診はしない	5 4 3 2 1	4	3	2 1
エコーゼリーを温めて使用する	5 4 3 2 1	4	3	2 1
腹部についてエコーゼリーをきれいに拭く	5 4 3 2 1	4	3	2 1
エコーの後、腹部をホットタオルで清拭する	5 4 3 2 1	4	3	2 1
超音波画像のビデオ撮影をする	5 4 3 2 1	4	3	2 1
<b>(健診時における観察について)</b>				
観察項目 — 心理状態	5 4 3 2 1	4	3	2 1
定められた検査	5 4 3 2 1	4	3	2 1
胎動の有無	5 4 3 2 1	4	3	2 1
妊娠37週での分娩監視装置による胎児状況	5 4 3 2 1	4	3	2 1
妊娠中期での乳房チェック	5 4 3 2 1	4	3	2 1
妊娠後期での乳房チェック	5 4 3 2 1	4	3	2 1
表情をよく見極める	5 4 3 2 1	4	3	2 1
不安や疑問を先取りして聞く	5 4 3 2 1	4	3	2 1
<b>(健診結果の説明について)</b>				
月数に応じて胎児発育状況の説明をする	5 4 3 2 1	4	3	2 1
超音波画像の説明をする	5 4 3 2 1	4	3	2 1
正常に経過していることを説明する	5 4 3 2 1	4	3	2 1
異常が見られた場合、過度な不安を与えないように配慮する	5 4 3 2 1	4	3	2 1
今後の健診の予定を説明する	5 4 3 2 1	4	3	2 1
<b>(精神的な癒しの援助について)</b>				
話を傾聴する	5 4 3 2 1	4	3	2 1
お互いの信頼関係を築きあげる	5 4 3 2 1	4	3	2 1
本人が訴えやすくする	5 4 3 2 1	4	3	2 1
心配、不安と一緒に取り組む	5 4 3 2 1	4	3	2 1
妊婦の話を中心に受け止める	5 4 3 2 1	4	3	2 1
すべての質問に答える	5 4 3 2 1	4	3	2 1
ほめるようにする	5 4 3 2 1	4	3	2 1
わかりやすい言葉で話す	5 4 3 2 1	4	3	2 1
分娩に対する恐怖心を取り除くよう心がける	5 4 3 2 1	4	3	2 1
<b>(身体的な苦痛の緩和について)</b>				
リラクセス — タッチ	5 4 3 2 1	4	3	2 1
	アロマセラピー	5 4 3 2 1	4	3 2 1
	温灸	5 4 3 2 1	4	3 2 1
	指圧マッサージ	5 4 3 2 1	4	3 2 1
	腰部マッサージ	5 4 3 2 1	4	3 2 1
	足のマッサージ	5 4 3 2 1	4	3 2 1
	全身のマッサージ	5 4 3 2 1	4	3 2 1
体の冷え予防 — 足浴	5 4 3 2 1	4	3	2 1
	遠赤外線	5 4 3 2 1	4	3 2 1
	イトオテルミー	5 4 3 2 1	4	3 2 1

		実践頻度	重要度
妊婦の「快適さ」へのケア内容		いかにあして つもりにま もりしていな しているいな いるいるいな	重要であ 少し重要 あまり重 要でない である である でない
<b>(個々の妊婦を尊重したケアについて)</b>			
	妊婦のペースを乱さない(あせらせない)	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	妊婦が自分の出産であることを認識できるようにする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	産む力を十分に発揮できるようにする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	妊婦が何を求めているのかを考える	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	個々にあった個別性のある指導をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	個人のニーズに合わせて診察する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	バースプランを夫婦で話し合うように促す	5 4 3 2 1	4 3 2 1
<b>(保健指導について)</b>			
	パンフレットを配布する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	指導に必要な教材を確保する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	体重増加について厳しく注意しない	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	指導 — 困っていることについて	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	よい状態でお産を迎えることについて	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	安心してマタニティライフを過ごすことについて	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	楽しくマタニティライフを過ごすことについて	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	妊産婦自身の意識を高めることについて	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	定期的な受診について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	心と体の仕組みについて	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	姿勢について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	呼吸法について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	晒し腹帯の着帯法について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	外陰部の清潔について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	下着の着用について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	日常生活指導について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	生活習慣のリズムについて	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	休養について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	マイナートラブルについて	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	体重コントロールについて	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	食事指導について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	中毒症の予防について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	冷え予防について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	実践 — 妊婦体操	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	散歩	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	ヨガ	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	歌う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	よく体を動かす	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	音楽を聴く	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	乳頭の手入れ	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	一緒に身体を動かす	5 4 3 2 1	4 3 2 1
<b>(集団指導について)</b>			
	出産のためのクラスを開講する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	集団の出産準備クラスへの参加を勧める	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	出産準備クラスを休日に実施する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	出産準備クラスへ夫の参加を促す	5 4 3 2 1	4 3 2 1
<b>(胎教について)</b>			
	妊婦が胎児に愛情をもてるように促す	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	妊婦が胎児の成長を感じるように促す	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	妊婦が胎児の生まれる日を心待ちにできるように促す	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	妊婦が胎児と向き合う時間を作るように促す	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	胎児心音を聞かせる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	見頭を妊婦に触れさせる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
	助産婦が胎児に話しかける	5 4 3 2 1	4 3 2 1

		実践頻度				重要度				
		い	か	時	あ	重	少	あ	重	
		つ	な	に	ま	要	し	ま	要	
		も	り	し	り	で	重	り	で	
		し	し	て	い	あ	要	重	な	
		て	て	い	い	る	あ	要	い	
		い	い	な	な	る	る	で	い	
		る	る	い	い	い	い	な	い	
		い	る	な	い	い	い	い	い	
妊婦の「快適さ」へのケア内容										
<b>(家族へのケアについて)</b>										
	夫に協力を促す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	家族を含めたケアを心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	家族、上の子に健診への同伴を勧める	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	胎児心音を家族も一緒に聞けるようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	妊娠経過をパートナーや家族にも説明する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	付き添いの子どもの遊び相手をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	同居の家族とのトラブルや悩みをじっくり聞く	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>(スタッフ間の連携について)</b>										
	スタッフの確保をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	スタッフ間の申し送りをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	医師とのコミュニケーションが円滑にいくよう心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	医師へ情報を提供する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>(助産婦としての基本的姿勢について)</b>										
	出産は共に乗り越えていく共同作業であると捉える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	妊婦に信頼してもらえるように心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	心の支えとなるドローラーを目指す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	妊婦に恥をかかさないようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	秘密を保持する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>(その他)</b>										
	妊婦の生活環境への配慮(経済面を含む)	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	経済的配慮について行政と交渉する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	入院物品を預かり、妊婦の負担を軽減する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	帰宅の際、安心して家路につけるような声かけをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	ケアの感想・意見を書いてもらう	5	4	3	2	1	4	3	2	1

2. あなたが助産婦として妊婦の「安全」を確保するために、以下の項目について  
 実際に行われている頻度と重要であると考える程度についてお答えください。  
 例にならって、あてはまると思う数字に○をつけて下さい。

実践頻度については、以下を参考にしてください。

- いつもしている : 毎回行っている
- かなりしている : 3回に約2回は行っている
- 時にしている : 2回に約1回は行っている
- あまりしていない : 3回に約1回は行っている
- していない : 全くしていない

妊婦の「安全性」へのケア内容	実践頻度					重要度			
	いつもしている	かなりしている	時にしている	あまりしていない	していない	非常に重要である	重要である	あまり重要でない	重要でない
例) 定期的な妊婦健診を行う	5	④	3	2	1	④	3	2	1
<b>来院に際しての妊婦や家族への配慮について</b>									
看護者の身だしなみを整える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
丁寧に接するように心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
否定的な言葉を使わないようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
相手が理解できる速度で言葉がけをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
その地方の習慣を理解した上で対応する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
悪天候時予約の変更を、助産婦より連絡する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>診察室等環境の配慮について</b>									
快適な室温を保つ	5	4	3	2	1	4	3	2	1
和室等でゆったり診察する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
空間を大きく取る	5	4	3	2	1	4	3	2	1
手すりのついた体重計を使う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>診察時における事故防止</b>									
名前の確認をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
洗浄液の温度を確認する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
内診時に外陰部を消毒する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
内診時、卵膜剥離は行なわない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
36週未満の内診時は子宮に決して指を入れない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
仰臥位低血圧症候群の症状について尋ねる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
ベッド上で寝たり起きる時に、背を支える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
内診台から降りるまで側に付き添う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
内診台昇降時に用いる足台を安全な場所に置く	5	4	3	2	1	4	3	2	1
床に不必要な物を置かない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
危険物を排除する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
診察台周囲の整理をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
ナースコールについて説明する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
感染症への対策を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
手洗いを励行する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
滅菌手袋を使用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
手指の清潔を保つ	5	4	3	2	1	4	3	2	1
清潔な白衣を着用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>診察時における配慮について</b>									
妊婦が理解できる内容で言葉がけをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
妊婦の同意を得た上で診察や検査を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
診察時、カーテンをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
内診台の腹部カーテンをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
内診台の足受けを使用しない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
エコーは比較的短時間にする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
メジャーで妊婦の皮膚を傷つけないように注意する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
他の妊婦がいない所で個人指導を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1



	実践頻度	重要度			
		非常に重要である	重要である	あまり重要でない	重要でない
妊婦の「安全性」へのケア内容	いかに頻りにしている	あまりにしている	していない		
<b>健診時における観察/計測/問診について</b>					
胎動の有無	5 4 3 2 1	4	3	2	1
ドップラーによる胎児心音	5 4 3 2 1	4	3	2	1
超音波画像による胎児状況	5 4 3 2 1	4	3	2	1
分娩監視装置	5 4 3 2 1	4	3	2	1
既往歴	5 4 3 2 1	4	3	2	1
既往妊娠歴	5 4 3 2 1	4	3	2	1
血液検査(ヘモグロビンなど)	5 4 3 2 1	4	3	2	1
尿検査(蛋白尿など)	5 4 3 2 1	4	3	2	1
血圧	5 4 3 2 1	4	3	2	1
体重	5 4 3 2 1	4	3	2	1
浮腫	5 4 3 2 1	4	3	2	1
内診所見	5 4 3 2 1	4	3	2	1
外診所見(レオポルドなど)	5 4 3 2 1	4	3	2	1
前回受診時のデータ	5 4 3 2 1	4	3	2	1
食欲の状態	5 4 3 2 1	4	3	2	1
体調	5 4 3 2 1	4	3	2	1
不安内容	5 4 3 2 1	4	3	2	1
日常生活習慣	5 4 3 2 1	4	3	2	1
家族構成	5 4 3 2 1	4	3	2	1
<b>健診結果の説明内容</b>					
診察や検査の必要性	5 4 3 2 1	4	3	2	1
自己責任も含めた説明	5 4 3 2 1	4	3	2	1
正しい情報	5 4 3 2 1	4	3	2	1
妊婦健診のスケジュール	5 4 3 2 1	4	3	2	1
計測値	5 4 3 2 1	4	3	2	1
月数に応じた次回健診までの留意点	5 4 3 2 1	4	3	2	1
医師の診察所見の説明	5 4 3 2 1	4	3	2	1
<b>保健指導内容</b>					
早産予防 — 重い物の上げ下ろし禁止について	5 4 3 2 1	4	3	2	1
過度の運動を避けることについて	5 4 3 2 1	4	3	2	1
無理な勤務を避けることについて	5 4 3 2 1	4	3	2	1
骨盤位 — 骨盤位時の体操指導	5 4 3 2 1	4	3	2	1
9ヶ月過ぎても頭位に戻る可能性について	5 4 3 2 1	4	3	2	1
妊娠中毒症 — 減塩食指導	5 4 3 2 1	4	3	2	1
水分のとりすぎについて	5 4 3 2 1	4	3	2	1
貧血 — 食事指導	5 4 3 2 1	4	3	2	1
定期健診の必要性について	5 4 3 2 1	4	3	2	1
マイナートラブルについて	5 4 3 2 1	4	3	2	1
精神的ストレスについて	5 4 3 2 1	4	3	2	1
保温について	5 4 3 2 1	4	3	2	1
休息について	5 4 3 2 1	4	3	2	1
自己管理について	5 4 3 2 1	4	3	2	1
異常時の対応について	5 4 3 2 1	4	3	2	1
不安時の受診の勧めについて	5 4 3 2 1	4	3	2	1
分娩に向けての話	5 4 3 2 1	4	3	2	1
自然の呼吸法	5 4 3 2 1	4	3	2	1
お産は楽しいというイメージを与える	5 4 3 2 1	4	3	2	1

	実践頻度	実践頻度					重要度			
		い	か	あ	し	非	重	あ	重	
妊婦の「安全性」へのケア内容		つ	な	ま	て	常	要	ま	要	
		も	り	り	い	に	で	り	で	
		し	し	い	い	重	あ	重	で	
		て	て	な	な	要	ま	要	で	
		い	る	い	い	あ	り	で	な	
		る		い	い	る	あ	り	で	
実践	— マタニティスイミング	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	マタニティエアロビックダンス	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	マタニティコーラス	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	妊婦体操	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	ヨガ	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	中国気功	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	温灸	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	運動計画表の作成	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	乳頭の手入れ	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>集団指導について</b>										
	安産教室を開催する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>胎教について</b>										
	毎日楽しく胎児に話しかけるように促す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>異常の早期発見と対処に心がける</b>										
	診察時、見落としのないように気をつける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	おかしいと思ったら目で見て確かめる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	電話だけですまらず来院するように促す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	定期健診に来なければ電話で促す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	NST施行時は観察の為に妊婦の所に行く	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	EBMに基づくケアを行うように心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	医師の診断が必要か、否かの判断をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	貧血の場合、医師への診察依頼をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	児頭下降不良の場合、医師に診察を依頼する（相談含む）	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	正期産で前期破水の場合、医師に診察を依頼する（相談含む）	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	正期産で早期破水の場合、医師に診察を依頼する（相談含む）	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	妊娠42週を超過した場合、医師に診察を依頼する（相談含む）	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	正常からの逸脱時、本人と家族に現状を話す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	正常からの逸脱時、早い段階で搬送する（相談含む）	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>母体位への対応について</b>										
	自己流の外回転術を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	外回転術で逆子が直らない時は無理をしない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	外回転術時、母子に語りかけながら矯正する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>スタッフ間の調整について</b>										
	同じ助産婦が継続してケアする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	助産婦同士のネットワークをもつ	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	24時間体制で助産婦に連絡がとれるようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	妊娠経過の異常がある場合、他のスタッフに見てもらう	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	妊娠経過の異常がある場合、他のスタッフに相談する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	医師との相互健診を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	医師の健診には同行する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	医師の診察の介助をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	血液検査は嘱託医に依頼をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	医療機関と定期的な連携をもつ	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	多種専門職と連携する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>物品の準備</b>										
	器具の消毒滅菌を十分に正しく行なう	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	医療用具・薬品等の点検、整備を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	物品やメジャー、椅子などをこまめに消毒綿で拭く	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>家族へのケアについて</b>										
	家族に協力するよう助言する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	説明は夫を含めて行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	説明は実母・姑にも行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	健診に同伴した上の子どもに危険がないよう注意する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	健診がゆっくりできるような上の子どもの世話をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1

	実践頻度	重要度			
		非常に重要である	重要である	あまり重要でない	重要でない
妊婦の「安全性」へのケア内容	いかにしてもしている	あまりにしてはいない	あまりにしてはいない	あまりにしてはいない	あまりにしてはいない
<b>助産婦としての基本的姿勢について</b>					
助産婦が自らの健康管理をする	5 4 3 2 1	4	3	2	1
予測を怠らない	5 4 3 2 1	4	3	2	1
知識の習得に心がける	5 4 3 2 1	4	3	2	1
不用意な言動を慎む	5 4 3 2 1	4	3	2	1
イライラしない	5 4 3 2 1	4	3	2	1
慌てさせない	5 4 3 2 1	4	3	2	1
共に考え合う	5 4 3 2 1	4	3	2	1
自分の施設でできること、できないことを明確にする	5 4 3 2 1	4	3	2	1
飛び込み的なお産は受けない	5 4 3 2 1	4	3	2	1
胎児の状態は常に重点を置く	5 4 3 2 1	4	3	2	1
記録を残す	5 4 3 2 1	4	3	2	1
相手の訴えをよく聞く	5 4 3 2 1	4	3	2	1
信頼関係を強くする	5 4 3 2 1	4	3	2	1

3. 最後に、以下の項目ではまる番号を○で囲み、□内は数字をお書き下さい。

1) あなたの年齢はいくつですか (平成14年1月現在)  歳

2) 助産婦としての臨床経験は何年ですか  年

3) 現在の就業場所はどれですか  
 ①大学病院 ②大学病院以外の総合病院  
 ③その他の病院 産科病院、小児科・産科病院など ④診療所 ⑤助産所  
 ⑥その他 ( )

4) 現在の職位 (名称が違う場合は同等の職位) はどれですか  
 ①看護 (副) 部長 ② (助産) 院長 ③ (副) 婦長  
 ④主任・係長 ⑤スタッフ

お忙しい中、調査にご協力いただきまして、心より感謝を申し上げます。  
 次回も本調査にご協力いただける方は、下記の枠内にご住所とお名前をお書き下さい。

ご住所 〒
お名前

平成14年2月15日

(社) 日本助産婦会会員 各位

厚生科学研究事業「助産所における安全で快適な妊娠・出産環境の確保に関する研究」  
分担研究者 高田 昌代

### 3 回目調査のお願い

拝啓

神戸では黄色と白の小粒の水仙の花が、春の香りと日差しを運んできています。皆様におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、御多忙にもかかわらず1回目、2回目の調査にご協力いただき心より感謝申し上げます。また、多くの先生方からの暖かい励ましのお手紙に研究者一同心に染みわたり、日本の助産婦の素晴らしいケア内容をなんとか明らかにしたいと奮起している次第です。また、今回で最終回になります3回目にご協力下さるとのお返事を頂き、重ねて御礼申し上げます。

2回目調査で、助産婦の多くの方々が妊婦に対して日頃実践されているケアの内容が浮き彫りになってまいりました。3回目調査では、2回目調査で分かった実践頻度の多い項目を約半分に精選し、もう一度、「快適さ」と「安全性」のケアで実践されている頻度とその重要性についてお伺い致す次第です。書き方は、2回目調査と同様に該当するところに○印をお付け下さい。

尚、この度は「妊婦」を対象に限定致しましたが、「産婦、褥婦、直後新生児、新生児」についてのケアも明らかにしていきたいと思っておりますが、なにぶん量が多いので、皆様の貴重なお時間を頂くことになりその方法に苦慮しております。そこで、この調査にご協力頂きました皆様に御意見をお伺い致したく、末尾の設問にお答え頂きますようお願い申し上げます。

なお、この研究にご協力いただけない場合においても、不利を被ることはないことと、プライバシーの確保には細心の配慮を致すことをお約束致します。

年度末でお忙しいこととは存じますが、2月末日(28日)(木)までに同封の封筒にてご返送頂きますようお願い致します。

最後に、感謝の気持ちを込めて心ばかりの御礼を同封させていただきます。

敬具

お問合せ先：神戸市西区学園西町3-4

神戸市看護大学 高田研究室

TEL/FAX 078-794-8077 E-mail mtakada@tr.kobe-ccn.ac.jp

1. あなたが助産婦として妊婦の「快適」を確保するために、以下の項目について実際に行われている頻度と重要度であると考えられる程度についてお答えください。  
例にならって、あてはまると思う数字に○をつけて下さい。

実践頻度 いつもしている : 毎回行っている  
 かなりしている : 3回に2回は行っている  
 時にしている : 2回に1回は行っている  
 あまりしていない : 3回に1回は行っている  
 していない : 全くしていない

重要度 5は非常に重要で、暫時重要度は低下し、1はほとんど要ないことを表す。

		実践頻度	重要度
妊婦の「快適さ」へのケア内容		い つ も し て い る	
例) 体重コントロールについて		5 ④ 3 2 1	5 4 ③ 2 1
<b>健診日の設定について</b>			
1	待ち時間を短縮する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
2	家族や夫が共に来やすい診察日時を設定する(夜間、日・祝日)	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
3	健診は、来所でも訪問でも自由に選べるようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
4	妊婦の家での健診をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
5	充分話し合えるように時間を配慮する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
<b>来院時の妊婦や家族への対応における配慮について</b>			
6	お茶を入れる	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
7	挨拶をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
8	笑顔を絶やさないようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
9	言葉遣いに気をつける	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
10	明るく丁寧に接するように心がける	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
11	妊婦の顔を見て話すようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
<b>診察室等環境への配慮について</b>			
12	程やかで落ち着く雰囲気作りをする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
13	夫婦が揃って診察を受けるように椅子2脚を準備する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
14	室温の調節をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
15	リネンを清潔にする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
16	妊婦が枕を選べるようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
17	音楽(BGM)を流す	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
18	雑誌を置く	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
<b>診察時における対応について</b>			
19	声かけしながら援助を行う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
20	診察時以外は仰臥位をとらせない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
21	露出部位は最小限にする(臍囲、子宮底測定、レオポルドの時)	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
22	内診台を使用しない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
23	必要がなければ内診はしない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
24	エコーゼリーを温めて使用する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
25	腹部についてエコーゼリーをきれいに拭く	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
<b>健診時における観察について</b>			
26	観察項目 — 心理状態	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
27	表情をよく見極める	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
<b>健診結果の説明について</b>			
28	月数に応じて胎児発育状況の説明をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
29	超音波画像の説明をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
30	正常に経過していることを説明する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
31	異常が見られた場合、過度な不安を与えないように配慮する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
<b>精神的な癒しの援助について</b>			
32	話を傾聴する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
33	お互いの信頼関係を築きあげる	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
34	本人が話しやすくする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
35	心配、不安と一緒に取り組む	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
36	妊婦の話を大事に受け止める	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
37	わかりやすい言葉で話す	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
38	分娩に対する恐怖心を取り除くよう心がける	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1

		実践頻度	重要度
妊婦の「快適さ」へのケア内容		いかなる時もしている	あまりしていない
身体的な苦痛の緩和について			
39	リラックス — 温灸	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
40	指圧マッサージ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
41	腰部マッサージ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
42	足のマッサージ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
43	全身のマッサージ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
44	体の冷え予防 — 足浴	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
個々の妊婦を尊重したケアについて			
45	妊婦のペースを乱さない（あせらせない）	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
46	妊婦が自分の出産であることを認識できるようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
47	産む力を十分に発揮できるようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
48	妊婦が何を求めているのかを考える	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
49	個々にあった個性のある指導をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
50	個人のニーズに合わせて診察する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
51	ペースプランを夫婦で話し合うように促す	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
保健指導について			
52	指導 — よい状態でお産を迎えることについて	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
53	安心してマタニティライフを過ごすことについて	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
54	楽しくマタニティライフを過ごすことについて	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
55	妊産婦自身の意識を高めることについて	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
56	心と体の仕組みについて	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
57	姿勢について	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
58	呼吸法について	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
59	晒し腹帯の着脱法について	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
60	外陰部の清潔について	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
61	下着の着用について	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
62	日常生活指導について	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
63	生活習慣のリズムについて	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
64	休養について	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
65	マイナートラブルについて	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
66	体重コントロールについて	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
67	食事指導について	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
68	虫薬症の予防について	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
69	冷え予防について	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
70	実践 — 妊婦体操	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
71	散歩	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
72	ヨガ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
73	歌う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
74	乳頭の手入れ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
集団指導について			
75	出産準備クラスを休日に実施する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
胎教について			
76	妊婦が胎児に愛情をもてるように促す	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
77	妊婦が胎児と向き合う時間を作るように促す	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
家族へのケアについて			
78	家族 — 上の子に健診への同伴を勧める	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
79	胎児心音を家族も一緒に聞けるようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
80	妊娠経過をパートナーや家族にも説明する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
81	付き添いの子どもの遊び相手をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
82	同居の家族とのトラブルや悩みをじっくり聞く	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
その他			
83	妊婦の生活環境への配慮（経済面を含む）	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
84	帰宅の際、安心して家路につけるような声かけをする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
85	どこで、誰の立ち合いで出産をするのかについて、妊婦が個人 たてる計画と一緒に作る	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
86	夫/パートナーと、適切な場合には家族に妊婦がたてる計画を知らせる	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
87	女性が求める限りの情報と説明を提供する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1

2. あなたが助産婦として妊婦の「安全」を確保するために、以下の項目について実際に行われている頻度と重要であると考える程度についてお答えください。  
例にならって、あてはまると思う数字に○をつけて下さい。

	実践頻度	重要度
	いかなりもしている	あまりにしてない
妊婦の「安全性」へのケア内容		
例) 看護者の身だしなみを整える	5 ④ 3 2 1	5 4 3 2 ①
来院に際しての妊婦や家族への配慮について		
1 看護者の身だしなみを整える	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
2 丁寧に接するように心がける	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
3 否定的な言葉を使わないようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
4 相手が理解できる速度で言葉がけをする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
診察室等環境の配慮について		
5 快適な室温を保つ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
6 和室等でゆったり診察する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
診察時における事故防止		
7 洗浄液の温度を確認する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
8 内診時に外陰部を消毒する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
9 内診時、卵膜剥離は行なわない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
10 床に不必要な物を置かない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
11 内診台昇降時に用いる足台を安全な場所に置く	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
12 危険物を排除する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
13 診察台周囲の整理をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
14 ナースコールについて説明する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
15 感染症への対策を行う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
16 手洗いを励行する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
17 手指の清潔を保つ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
18 清潔な白衣を着用する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
診察時における配慮について		
19 妊婦が理解できる内容で言葉がけをする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
20 内診台の腹部カーテンをする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
21 メジャーで妊婦の皮膚を傷つけないように注意する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
健診時における観察/計測/問診について		
22 胎動の有無	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
23 ドップラーによる胎児心音	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
24 分娩監視装置	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
25 既往歴	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
26 既往妊娠歴	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
27 尿検査(蛋白尿など)	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
28 血圧	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
29 体重	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
30 浮腫	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
31 外診所見(レオポルドなど)	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
32 前回受診時のデータ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
33 食欲の状態	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
34 体調	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
35 不安内容	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
36 日常生活習慣	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
37 家族構成	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1

	実践頻度 いかなりもして つもしている る	度 あ し て い な い	重要度
妊婦の「安全性」へのケア内容			
健診結果の説明内容			
38 診察や検査の必要性	5	4	3 2 1
39 自己責任も含めた説明	5	4	3 2 1
40 正しい情報	5	4	3 2 1
41 妊婦健診のスケジュール	5	4	3 2 1
42 計測値	5	4	3 2 1
43 月数に応じた次回健診までの留意点	5	4	3 2 1
44 医師の診察所見の説明	5	4	3 2 1
保健指導内容			
45 早産予防 — 重い荷物の上げ下ろし禁止について	5	4	3 2 1
46 — 過度の運動を避けることについて	5	4	3 2 1
47 — 無理な勤務を避けることについて	5	4	3 2 1
48 骨盤位 — 骨盤位時の体位指導	5	4	3 2 1
49 骨盤位9ヶ月過ぎても頭位に戻る可能性について	5	4	3 2 1
保健指導内容			
50 妊娠中毒症 — 減塩食指導	5	4	3 2 1
51 — 水分のとりすぎについて	5	4	3 2 1
52 貧血 — 食事指導	5	4	3 2 1
53 マイナートラブルについて	5	4	3 2 1
54 精神的ストレスについて	5	4	3 2 1
55 保温について	5	4	3 2 1
56 休息について	5	4	3 2 1
57 自己管理について	5	4	3 2 1
58 異常時の対応について	5	4	3 2 1
59 不安時の受診の勧めについて	5	4	3 2 1
60 分娩に向けての話	5	4	3 2 1
61 自然の呼吸法	5	4	3 2 1
62 お産は楽しいというイメージを与える	5	4	3 2 1
63 実践 — ヨガ	5	4	3 2 1
64 — 温灸	5	4	3 2 1
異常の早期発見と対処に心がける			
65 診察時、見落としのないように気をつける	5	4	3 2 1
66 おかしいと思ったら目で見て確かめる	5	4	3 2 1
67 NST施行時は観察の為に妊婦の所に行く	5	4	3 2 1
68 EBMに基づくケアを行うように心がける	5	4	3 2 1
69 医師の診断が必要か否かの判断をする	5	4	3 2 1
70 貧血の場合医師への診察依頼をする	5	4	3 2 1
71 児頭下降不良の場合医師に診察を依頼する（相談含む）	5	4	3 2 1
72 正期産で前期破水の場合医師に診察を依頼する（相談含む）	5	4	3 2 1
73 正期産で早期破水の場合医師に診察を依頼する（相談含む）	5	4	3 2 1
74 妊娠42週を超過した場合医師に診察を依頼する（相談含む）	5	4	3 2 1
75 正堂からの逸脱時、早い段階で搬送する（相談含む）	5	4	3 2 1
骨盤位への対応について			
76 自己流の外回転術を行う	5	4	3 2 1
スタッフ間の調整について			
77 同じ助産婦が継続してケアする	5	4	3 2 1
78 助産婦同士のネットワークをもつ	5	4	3 2 1
79 24時間体制で助産婦に連絡がとれるようにする	5	4	3 2 1
80 妊娠経過の異常がある場合、他のスタッフに見てもらおう	5	4	3 2 1



	実践頻度	重要度	
			い つ も し て い る
妊婦の「安全性」へのケア内容			
81 妊娠経過の異常がある場合他のスタッフに相談する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
82 医師との相互健診を行う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
83 血液検査は嘱託医に依頼をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
84 医療機関と定期的な連携をもつ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
物品の準備			
85 器具の消毒滅菌を十分に正しく行なう	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
86 医療用具薬品等の点検整備を行う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
87 物品やメジャー、椅子などをこまめに消毒綿で拭く	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
家族へのケアについて			
88 説明は夫を含めて行う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
89 説明は実母姑にも行う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
助産婦としての基本的姿勢について			
90 予測を怠らない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
91 知識の習得に心がける	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
92 不用意な言動を慎む	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
93 イライラしない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
94 慌てさせない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
95 共に考え合う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
96 飛び込み的なお産は受けない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
97 胎児の状態は常に重点を置く	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
その他			
98 妊娠のリスクの査定を、産前健診の度毎に、再評価を重ねながら行う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	
99 女性が求める限りの情報と説明を提供する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	

3. 最後に、以下の項目ではまる番号を○で囲み、□内は数字をお書き下さい。

1) あなたの年齢はいくつですか（平成14年1月現在）  歳

2) 助産婦としての臨床経験は何年ですか  年

3) 現在の就業場所はどれですか  
 ①大学病院                      ②大学病院以外の総合病院  
 ③その他の病院（単科病院、小児科・産科病院など）                      ④診療所助産所  
 ⑥その他（                      ）

4) 現在の職位（名称が違う場合は同等の職位）はどれですか  
 ①看護（副）部長                      ②（助産）院長                      ③（副）婦長  
 ④主任・係長                      ⑤スタッフ

\*次回からの調査についてのご意見をお伺い致します。  
 「産婦・褥婦・新生児へのケア」に関する調査票は、一度に行うとすると今調査票の約2倍の量と今後の調査方法について、ご意見の近い方に○をつけて下さい。

- ① 一回の方がいい  
 ② 二回に分けて行って欲しい

お忙しい中、調査にご協力頂きまして、心より感謝を申し上げます。

(社) 日本助産婦会会員 各位

厚生科学研究事業「助産所における安全で快適な妊娠・出産環境の確保に関する研究」

分担研究者 高田 昌代

## 産婦・褥婦・新生児 2 回目調査のお願い

拝啓

若葉の萌たつ頃、皆様におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、妊婦の 2 回目、3 回目の調査に丁寧にご協力いただき、お陰を持ちまして、昨年度は貴重なデータから、助産師がおこなっている妊婦の安全で快適なケアの報告をすることができましたこと、心より御礼申し上げます。

前回の 2 回目調査の依頼文にも記載いたしましたが、妊産褥婦・新生児すべてのケアを対象と致しますと非常に多くの項目になり、多大な御負担をおかけすることから、今回は妊婦ケアだけに限らせて頂きました。そこで、今回は産婦、褥婦、新生児に関する安全で快適なケアを行なっている頻度と重要性をお聞かせいただきたく、ご協力の程、お願い致します。

しかしながら、今回の調査項目も多くありますので、「産婦」と「褥婦・新生児」の出来上がった方から返信していただけるように返信用封筒を 2 枚入れております。もちろん、一緒に返信下さっても構いません。

また、この調査は皆様のご意見を反映しながらくり返し調査をする方法を用いております。3 回目は項目数も減少し○印をつける調査で終了ですので、3 回目も是非ご協力下さいますようお願い致します。

なお、この研究にご協力いただけない場合においても、不利を被ることはないことと、プライバシーの確保には細心の配慮を致すことをお約束致します。

ゴールデンウィークでお忙しいこととは存じますが、5 月 日 ( ) までに同封の封筒にてご返送頂きますようお願い致します。

最後に、心ばかりの品ですが、調査にご協力いただきましたお礼を同封致しました。ご笑納下さい。

敬具

お問合せ先：神戸市西区学園西町 3-4

神戸市看護大学 高田研究室

TEL/FAX 078-794-8077 E-mail mtakada@tr.kobe-ccn.ac.jp

1. あなたが助産婦として産婦の「快適」を確保するために、以下の項目について実際に行われている頻度と重要であると考える程度についてお答えください。  
例にならって、あてはまると思う数字に○をつけて下さい。

また、ナースコールを設置していない、自宅分娩のみを取り扱っているなど設備や、勤務形態の都合上、実施ができないケア項目については、「都合上実施できない」の欄に○をつけ、重要度のみ解答してください。

実践頻度については、以下を参考にしてください。

- いつもしている : 毎回行っている  
かなりしている : 3回に約2回は行っている  
時にしている : 2回に約1回は行っている  
あまりしていない : 3回に約1回は行っている  
していない : 全くしていない

	実践頻度					重要度		
	都合上実施できない	いつもしている	かなりしている	時にしている	あまりしていない	重要である	少し重要である	あまり重要でない
産婦の「快適さ」へのケア内容								
例) 分娩台の背もたれを調節する	○	5	4	3	2	1	(4)	3 2 1
<b>助産婦の姿勢</b>								
1 適確な診断に心がける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
2 適切な対処方法を行うようにする		5	4	3	2	1		4 3 2 1
3 処置技術の確実さに心がける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
4 お産は病気でないと考えてケアする		5	4	3	2	1		4 3 2 1
5 自然の流れに沿って根気よく待つ		5	4	3	2	1		4 3 2 1
6 自然分娩ができるように共に歩む		5	4	3	2	1		4 3 2 1
7 専門家としての提案をしていく		5	4	3	2	1		4 3 2 1
8 産む力、生まれる力を最大限に引き出すよう援助する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
9 助産婦は自信をもってケアをする		5	4	3	2	1		4 3 2 1
10 助産婦は異常時でも冷静を装う		5	4	3	2	1		4 3 2 1
11 助産婦は大声を出さない		5	4	3	2	1		4 3 2 1
12 助産婦はパニックにならない		5	4	3	2	1		4 3 2 1
13 助産婦は粗暴な動作を避ける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
14 産婦と一緒に喜ぶ		5	4	3	2	1		4 3 2 1
15 明るく霽間気に心がける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
16 お産がよい思い出となるよう演出する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
17 お祝いのムードを高める		5	4	3	2	1		4 3 2 1
18 スタッフ全員で喜びを分かち合う		5	4	3	2	1		4 3 2 1
<b>個々の産婦を尊重した関わり</b>								
19 プライバシーを守る		5	4	3	2	1		4 3 2 1
20 声を出してもいいように、部屋を分ける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
21 不必要な介入を避ける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
22 点滴は分娩第Ⅱ期から行うようにする		5	4	3	2	1		4 3 2 1
23 不必要な剃毛をしない		5	4	3	2	1		4 3 2 1
24 不必要な浣腸をしない		5	4	3	2	1		4 3 2 1
25 不必要な導尿をしない		5	4	3	2	1		4 3 2 1
26 内診を最小限にするように心がける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
27 十分に説明し同意を得るように心がける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
28 分娩経過における産婦の権利を尊重する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
29 本人の意志を大切にす		5	4	3	2	1		4 3 2 1
30 産婦の主体性に任せる		5	4	3	2	1		4 3 2 1
31 本人の要求することを満たす		5	4	3	2	1		4 3 2 1
32 バースプランに沿ったケアをする		5	4	3	2	1		4 3 2 1

33	脐帯切断の了解を得る	5	4	3	2	1	4	3	2	1
34	過ごしたい場所で過ごすことを尊重する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>信頼関係を重視</b>										
35	自己紹介をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
36	コミュニケーションを十分にとる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
37	一方的に質問ばかりしない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
38	相手が理解できる言葉で話す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>入院時期の判断</b>										
39	診察した上で入院を決める	5	4	3	2	1	4	3	2	1
40	入院前 密な連絡をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
41	入院時期を遅らせ 家庭での生活を多くする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
42	不安・心配事の際は速やかに電話するように説明する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
43	求められたら速やかに訪問する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>観察</b>										
44	産婦の躁動作	5	4	3	2	1	4	3	2	1
45	産婦の言葉	5	4	3	2	1	4	3	2	1
46	ドップラーによる胎児心音	5	4	3	2	1	4	3	2	1
47	分娩監視装置による胎児心音測定	5	4	3	2	1	4	3	2	1
48	分娩監視装置による陣痛測定	5	4	3	2	1	4	3	2	1
49	リラクソスの程度	5	4	3	2	1	4	3	2	1
50	発汗状態	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>分娩第1期の過ごし方</b>										
51	なるべく自然に過ごす	5	4	3	2	1	4	3	2	1
52	なるべく自由に過ごす	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>(体位の工夫)</b>										
53	仰臥位	5	4	3	2	1	4	3	2	1
54	側臥位	5	4	3	2	1	4	3	2	1
55	座位	5	4	3	2	1	4	3	2	1
56	立位	5	4	3	2	1	4	3	2	1
57	四つばい	5	4	3	2	1	4	3	2	1
58	アクティブチェアを用いる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
59	円ボールを用いる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
60	枕・クッションを用いる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
61	第一胎向の時は右側臥位、第二胎向の時は左側臥位をすすめる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
62	産婦が体位を30分おきに変える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
63	産婦が階段の昇降をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
64	自由に動きまわる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
65	連続二本タリングはしない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
66	排便を促す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
67	排尿を促す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>(体力の保持)</b>										
68	夜中より陣痛開始の人は遅かせる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
69	休息を勤める	5	4	3	2	1	4	3	2	1
70	三拍子自立分娩法を利用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
71	水分補給	5	4	3	2	1	4	3	2	1
72	栄養補給	5	4	3	2	1	4	3	2	1
73	氷水を渡す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
74	食べやすい食事を用意する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
75	生ジュースを用意する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
76	紅茶を用意する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
77	希望により軽食・果物の用意を用意する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>(分娩遅延した場合)</b>										
78	乳頭刺激をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
79	歩行を勤める	5	4	3	2	1	4	3	2	1
80	足浴をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>(マッサージ)</b>										
81	頸部	5	4	3	2	1	4	3	2	1
82	腹部	5	4	3	2	1	4	3	2	1
83	腰部	5	4	3	2	1	4	3	2	1
84	背部	5	4	3	2	1	4	3	2	1
85	手指	5	4	3	2	1	4	3	2	1
86	下腿	5	4	3	2	1	4	3	2	1